

人生をつなぐ、ベルモニー。

代表取締役

武智正晴

人と人とのつながりが希薄になった。
そう言われる時代でも、ひとつの人生は、
たくさんの人生とつながっている。

私は、そう思います。

人生はひとりだけのものではなく、
家族や友人、ご近所の方々など周りにいる
人たちにとってもかけがえのないものです。

四十年というベルモニーの歩みのなかで、
たくさんの人の人生と向き合ってきて、

私たちの仕事は「つなぐこと」だと改めて思います。

冠婚葬祭という人生の節目で、

家族をつなぎ、疎遠になっていた人々をつなぎ、
はじめて出会う人々をつなぐ。

そして冠婚葬祭という日本の伝統を、

芯は曲げずに、時代や環境に合わせてつないでいく。

人と人をつなぐ祝いの場や

別れの場をつくるとともに、

未来へつなぐべき考えを世の中に発信し続ける。

それが私たちの使命であり責任です。

結婚式はもちろん、

お葬式も、新しいスタートの場。

故人を見送るためだけでなく、

残された人たちが立ち直り、

新たな一歩を踏み出すためのものでもあります。

だから、人生の節目である

冠婚葬祭を満足できるものにしてこそ、

人は、出会いも別れも

受け入れることができるのだと思うのです。

経済の変化や少子化、高齢化が進むなかで、

冠婚葬祭を取り巻く環境は

ますます変化していくでしょう。

でも、人が人を想うことの大切さは

やっぱり変わらない。変えてはならない。

それが私たちの変わることのない信念です。

ベルモニーは、

地域に根ざし、人のところをつなぎ、

日本のところをつないでいきます。